

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

事業所名: Job kids宝塚 2022年1月10日

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価			保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
			はい	どちらでもない	いいえ	
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	新型コロナウイルス感染防止の為、密にならないよう十分な指導訓練室の確保に加え、相談室、休憩スペースも確保しています。	27	1	0	引き続き児童がのびのびと活動等できるようにスペースの確保をしていきます。
	2 職員の適切な配置	指定基準を満たしており、適切に配置しています。	27	1	0	
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	子供達が安全に過ごせるように室内は内面バリアフリーにしております。スケジュール等の情報伝達には掲示板を活用する等、視覚で理解できるよう配慮している。	21	7	0	今後も利用者の特性に応じた環境を整備していきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	新型コロナウイルス感染防止の為、手指消毒用アルコールを設置し、入室時・手洗い後・退出時に必ずアルコール消毒を行うよう徹底している。また、毎日活動前後には掃除、学習用具・おもちゃ等の殺菌を例年以上に行うなど、ウイルス感染症対策を講じている。子どもたちがゆったりと安全に活動できるように活動空間が広がるように心がけています。	/			引き続き利用者に不快さを感じさせない環境作りに取り組んでいきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	月2回の職員会議では必ずPDCAを用いて行い、チーム全体の業務改善を図っている。また、個人の業務改善については管理者による面談を定期的に行うことに加えて、年2回の人事考課により半期ごとの目標設定と振り返りを行っている。また、定期的に勉強会を実施し、事前対策を考え、結果を報告しあう環境や雰囲気を作られています。	/			目標設定と振り返りを行っていくように努めます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現在は実施していない。	/			今後も継続して適切な支援を行います。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	新型コロナウイルス感染防止の為、計画している研修は実施していない。通常であれば、年間で定める社内研修のほか、外部への研修にも積極的に参加できる機会を設け、研修に係る費用は法人で負担している。	/			事業所内の職員間での知識を共有できる機会を増やし、外部研修の受講とフィードバックを徹底する。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	児童発達支援管理責任者と担当指導員による日々の子どもたちのご様子をサービス提供記録の提供、および保護者様の意向を共有し、定期的に面談し個別計画を作成しています。	27	1	0	子どもの状況に応じた訓練内容、成果について、改善課題等保護者に理解しやすいよう努めていきます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	一人一人の個性を尊重し、本人の能力に合った個別課題を実施しており、SST・PC・リトミック・体幹トレーニング等では、集団活動を通して協調性を身につけられるよう計画を考え実施しています。				
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	個々の子供たちに必要な項目を設定し、サービス提供記録の記載を行っています。また、定期面談や日頃の活動の様子から必要な支援の項目を設定し、各活動内容を計画した上で個別支援計画に記載している。(※新型コロナウイルスの感染状況により電話で面談を行う場合もある)				
	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	個別支援計画に沿った適切な支援を実施する為、保護者面談の内容及び、支援計画の共有を行っている。				

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価			保護者の評価を踏まえた改善目標・内容			
			はい	どちらでもない	いいえ				
適切な支援の提供(続き)	5 チーム全体での活動プログラムの立案	保護者様のニーズや子供たちの要望を反映させたプログラムの提供を行う為、サービス提供日(平日、休日、長期休暇)に応じた活動プログラムを3か月ごとに職員全員が立案し児童発達支援管理責任者と構築、立案者が担当指導員として実施している。	/			今後も継続して適切な支援を行います。			
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援					今後も継続して適切な支援を行います。			
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施					27	0	0	今後も個々のニーズに対応できるように工夫していきます。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	毎日、プログラム内容、スタッフの役割、注意事項などの確認を徹底している。打ち合わせ不在職員でもわかるように予定をグループラインで周知したり、常勤担当スタッフより直接伝達しています。また、前日の気付きや課題等を再度確認し、情報共有を密に行っている。	/			今後も継続して適切な支援を行います。			
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後には毎日振り返りを行っており、支援内容の気付きや児童の様子に加えて、ヒヤリハット・事故の有無等の共有を徹底している。また、振り返りの内容は記録し、翌日の申し送りに活用するなど職員間の共有漏れを防止している。				今後も継続して適切な支援を行います。			
	10 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日々サービス提供の記録を行い、プログラムや個別支援の検証や改善に繋げています。				今後も継続して適切な支援を行います。			
11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	年に二回のモニタリングを必ず行い、個別支援計画の見直しは複数で意見交換、検討するようにしています。また、急を要する場合には適宜保護者面談を実施し、細い期間で計画の見直しも行っている。	/			今後も継続して適切な支援を行います。				
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画				新型コロナウイルスの感染状況を鑑みながら、児童発達支援管理責任者及び、保育士経験のある職員がサービス担当者会議に参加している。	/			今後も継続して適切な支援を行います。
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施				医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のあるお子さまは、現在利用しておりません。 ※近くにある小児医院と連携をとっております。				/
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備								
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	各関係機関、学校の先生との連携を図っており、提供するサービスの趣旨や目的、利用状況等、スムーズな受け入れが可能となるよう情報共有を行っている。	/			今後も継続して適切な支援を行います。			
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	放課後等デイサービスの他、同一法人で就労支援事業も行っています。其々の状況やニーズに合わせて卒業後の進路についてはスムーズに行っている。また他事業所への移行希望がある場合には情報提供を行う。				/			引き続き、連携を図っていきます。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	一部の児童の支援情報を児童発達支援センター担当者と連携を取っています。研修については新型コロナウイルス感染防止の為、現在受講の促進は行っていないが、感染状況を鑑みながら職員のブラッシュアップに努める。							/

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価			保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
			はい	どちらでもない	いいえ	
7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	当事業所では、特性ある個々に合わせたサービス提供を行うことを目指しているため、本項目は実施していません。但し、外出時には地域の子どもたちが参加する場所に出かけるなど、一緒に空間で過ごすことを心掛けています。	9	13	4	今後も継続して適切な支援を行います。
	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	消火訓練や避難訓練等の活動に地域住民を招待しています。	/			今後も継続して適切な支援を行います。
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	利用者負担については契約時に説明を行っています。支援内容は定期面談により説明を行っています。利用者負担額や上限管理事業所等の変更については、書面にてご説明させて頂いております。また、ご質問があった場合には、その都度ご説明させて頂いております。	27	1	0	今後も継続して適切な支援を行います。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	原則、保護者懇談にて支援の経過をご報告し、支援案をご説明して協議していましたが、新型コロナウイルス感染防止の為、現在は主に電話面談により個別支援計画の内容を説明し、保護者の同意を得ています。当日の実施内容についてはサービス提供記録を作成し、日常的に保護者に報告しています。	/			今後も計画書に提示しながら、具体的にわかりやすいようにお伝えしていきます。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	現在ペアレントトレーニングは実施していないが、支援内容や事業所での関わり方等、保護者と共有し、共通理解を持ち支援を行っている。	/			今まで同様、個別にご相談頂いたことは可能な限り対応させて頂きます。事業所内で取り組んでいる支援でご家庭に般化できるような取り組みは、懇談時などで具体的にご報告させて頂きました。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	利用日にはサービス提供記録の作成に加えて、送迎時の電話連絡の際に当日の様子を報告している。(本来は対面での報告であるが、現在は新型コロナウイルス感染防止の為、電話での対応としている)	27	1	0	今後も、より共通理解が図れるように努めていきます。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	保護者様から相談があった場合には適宜面談を実施し助言を行っているが、新型コロナウイルス感染防止の為、相談への助言においては電話面談で対応している。	23	4	0	今後も継続するとともに、相談しやすい環境作りに努めていきます。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	現在父母の会等は実施していないが、新型コロナウイルス等の感染状況を鑑みながら、事業所説明会や保護者様向けの講習会を開催している。	3	17	6	今後、ご希望があれば父母の会や保護者会を検討させて頂きます。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情対応体制のレポートラインに従って迅速に対応し、保護者様への周知については必要に応じて書面で示している。	22	7	0	今後、苦情・要望等がありましたら、迅速かつ真摯に対応します。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	保護者様との情報伝達については、電話・メール、書面を用いる等、様々なケースに対応できるよう配慮している。	26	1	0	今後、ご希望に合わせて出来る限り対応させて頂きます。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月のカリキュラムは前月に保護者様に配布している。また、毎月発行の広報誌や毎日更新するブログで日々の活動内容を発信している。	25	2	1	今後も継続して適切な支援を行います。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価			保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
			はい	どちらでもない	いいえ	
非常時等の対応	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	27	1	0	今後も継続して適切な支援を行います。
	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	19	7	1	今後もマニュアルの改訂等ございましたら、ご報告させていただきます。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	18	7	1	今後も避難訓練等を実施しましたら、会報誌などでご報告させていただきます。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	/			今後も研修受講やミーティングなどで周知していきます。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	/			身体拘束を行う場合、保護者、関係機関と連携しながら、了承を得た上、計画書に記載します。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	/			今後も継続して適切な支援を行います。
6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット及び事故報告書を作成している。また職員間では毎日の振り返り及び、定期的な会議で職員全員で共有し再発防止に努めている。	/			今後も継続して適切な支援を行います。